先進地に学ぶ 行政視察報告から

産業経済常任委員会

期　日／七月十二日～十五日
視察地／北海道音更町・中札内村・富良野市

◎音更町

〔十勝川温泉に係る観光事業の現況〕

宿泊客が平成八年度をピークとして減少傾向になっている。反面、日帰り客は隣接する北海道立十勝エコロジーパークの開園に伴い、増加の状況にある。観光客のニーズに対応した、魅力ある滞在型の観光づくりを推進するため、地元農業や他産業との連携や、アウトドアをはじめとする体験メニューづくり、観光客を暖かく迎える観光イベントの充実等が課題である。

◎中札内村

〔有機農業、循環型農業〕

これまでの畑作と畜産の複合経営から酪農、養豚、養鶏の専業経営化と畜産の団地化が進められ、個別複合から地域複合への転換を行った。家畜のふん尿は酪農畜産農家から畑作農家の圃場に還元され、畑作から生まれる麦わらは堆肥と交換で敷料として酪農家に供給されている。堆肥の切り返し、運搬、散布は、農家が出資して設置した機械センターが作業を受託している。

◎富良野市

〔地産地消の取り組み〕

平成十三年度から十五年度にかけて、スーパー等での地場産品販売コーナーの設置要請、地産地消キャンペーン（試食販売と夕市）の開催など主に農業サイドから行った。平成十六年度から主に観光サイドから「富良野を食べようキャンペーン」として、観光客を取り込んだ「食コンテスト」の開催、売るネットワークの自立運営を目指し、ＪＲ旅行者の試験ツアーの実施などを行っている。地産地消事業から農業・観光事業へうまく展開されていた。

十勝エコロジーパーク

議会運営委員会

期　日／六月二十八日～三十日
視察地／長野県須坂市・東京都町田市・稲城市

◎須坂市

〔市民にわかりやすい透明性のある議会づくり〕

平成十七年二月に「市議会定数等改革検討委員会」を設置し、定数、報酬、政務調査費及び議会改革等の課題について研究検討している。行財政リストラの時代であり、議会のチェック機能の充実を図る等多様な時代の流れから、地方議会のあり方の研修や「市民懇談会」を設置し、幅広い市民の声を聴く予定である。一般質問は、対面方式で一問一答方式を実施している。また、民間テレビ局が議会の生中継と夜間再放送を行っている。

◎町田市

〔議会の改革・活性化・開かれた議会づくり〕

議会改革調査特別委員会を設置し、定数削減を柱とした議会の改革を実施した。更に一般質問の対面方式と一問一答方式、議案質疑の通告制を採用している。決算審査では、審査報告書を作成し、審査意見を予算に繁栄している。議会のインターネット中継、議会ホームページに会議録の検索システムを採用するなど、一貫して市民に開かれた議会づくりの実現を目指している。

◎稲城市

〔議会運営の効率化―議会の改善〕

議員から提出の改善項目について、協議検討を行い、結論を得たものから導入し、議会の効率的な運営を図っている。改善の主なものは、委員会中心主義への移行。予算特別委員会に分科会を設置。原則一日一委員会の実施（議員が傍聴する）。各種審査会等委員の選出議員の削減。インターネットライブ中継の実施等である。更に「市民に開かれた議会、市民にわかりやすく親しみやすい議会」を目指して取り組んでいる。

一般質問の対面方式